



やってみよう!

エコ地蔵盆



eco!  **エコで楽しい
アイデアがいっぱい!**

1

おやつ選び

2

あそび・プレゼント

3

家庭の景品

4

ごみを減らす



- ① エコ地藏盆とは？3P
- ② エコ地藏盆 やってみました！4P
 - 中京区 天守町4P
 - 北区 大宮薬師山東町・西町5P
 - 山科区 安朱屋敷町6P
 - 右京区 中田町7P
- ③ やってみよう！エコ地藏盆～実践編 ...8P
 - 其の一 おやつ8P
 - 其の二 あそび・プレゼント12P
 - 其の三 家庭の景品14P
 - 其の四 ごみを減らす18P
- ④ 新聞でも紹介されました！20p
- ⑤ あとがき22p



エコ地蔵盆とは

京都の伝統行事である地蔵盆は、子どもたちの健やかな成長を願うお祭です。町内の人達が力を合わせて、子どもたちが一日楽しく過ごせるように工夫を凝らしています。しかし、子どもたちに配られるおやつは、ごみのたくさん出る袋菓子や化学合成された添加物がたくさん使われたお菓子、さらにはファーストフードが一般的になってきました。くじ引きなどの景品は、飽きのくるキャラクターものや壊れたら使えなくなるおもちゃも多くなっています。地蔵盆の本来の趣旨から現状をみたとき、「これでいいの？」という疑問がありました。

一方、近年、地球温暖化によるものと思われる「異常気象」が世界各地で起こるようになりました。日本でも雨や雪の降り方の変化、桜の開花時期や紅葉シーズンのずれなど、日々の生活の中で「ちょっと変じゃない？」と感ずることも増えてきています。このまま地球温暖化が進めば、子どもたちが大人になる頃、どんな社会になっているのでしょうか。

「子どもが健やかに育つ社会」とはどのような社会でしょうか？ 安心で安全な食事ができ、地域の人々から見守られ、身近に自然に親しめ、世界では戦争がない平和な社会。そうした社会をつくるには、日々をすこす地域から環境問題やまちづくり等に取り組むことが、大きな効果をもたらします。町内が一致団結して取り組む地蔵盆での実践を通じて、日々の暮らしにもそのエッセンスが取り入れられ、それが「子どもが健やかに育つ社会」をつくることにつながれば、という思いから「エコ地蔵盆」を提案しています。

エコ地蔵盆で提案していることは、大きくは2つです。

- (1) 健康にも環境にもやさしい食べ物を提供しよう**
- (2) できるだけごみがでない工夫をしよう**

ただ、具体的にはどう取り組めばいいのか分からないという声も聞こえて来ます。そこで、取り組みの参考となるようこの冊子を作成しました。ぜひ、この冊子でエコ地蔵盆に取り組んでください。

エコ地蔵盆 やってみました！

中京区
天守町

実施：2006年8/20（日）、2007年8/19（日）

こちらでは、2年続けてエコ地蔵盆に取り組みました。子どもたちのおやつは、従来の袋菓子のセットをやめて、地域のパン屋や菓子店で添加物の少ないものを求めました。暑いさなかの行事に水分補給は欠かせません。サーバーに用意されたお茶は、子どもたちは持参したマイカップで、大人はレンタルしたリユースカップ（19P参照）で飲み、紙コップ等の使い捨て容器は使用しませんでした。

家庭向けの景品選びにも環境の視点を盛り込んでいます。地蔵盆の景品としてよく使われるトイレットペーパーや食品ラップも、再生紙使用のものや非塩化ビニル製のものを準備したほか、「地産地消」を主なテーマにして、京都産のお米や国産材料のみを使ったお菓子、京都の地ビールや京都市内で有機栽培された野菜などを準備し、好評でした。

子どもたちのプレゼントには、流行がさるとすぐごみになってしまうキャラクターものや、自分で遊びを工夫する余地がなくなりがちなお電池ものをさけ、研究や勉強のセット、手作りキット、野外遊びの道具、長く遊べるものといった視点で選びました。

お町内の声



エコ地蔵盆に取り組むことで、「地蔵盆」は誰のために、何のためにやるかをみんなが考えるきっかけになってほしいと思っています。

エコ地蔵盆 やってみました！

北区 大宮薬師山東町 ・西町

実施：2007年8/18（土）、8/19（日）

「いつもと違う地蔵盆にしたい！」という町内役員さんの声から始まりました。おやつには、無添加のウィンナーをパン屋さんに持ち込み、ウィンナーロールにしてもらいました。従来はファーストフードだったので、ごみ減量と添加物を少なくする両面で大きく変化しました。飲料も、地域の牛乳屋さんからリユース瓶の乳飲料を配達してもらったり、リユース瓶で販売されている果汁100%ジュースを、子どもたちが持参したマイカップにつぎ分けたので、ジュースの個別パックや紙コップをごみにしないですみました。



選び方にもこだわった子どもたちへのプレゼントは、町内の方のアイデアで各家庭に眠っている紙袋を持ち寄り、それに入れて渡すことで新たな包装ごみを出さないとともに、子どもたちには、「何が入っているんだろう」というワクワク感が生まれました。

環境寸劇「エコファイターショー」(*)で「ごみを減らす」ことを学んだ子どもたちにとって、地蔵盆でごみ減量を実践する大人の姿はとても説得力がありました。

※エコファイターショーとは、NPO 法人環境市民が行う環境寸劇です。

お町内の声



環境の要素を入れることで、行事の内容に新しく楽しいアイデアが
生まれ、担当役員さんも工夫することを楽しみました。
環境のこともやればできるという気持ちで持て、そのことが町内の
結束力を高めることにもつながったように思います。

エコ地蔵盆 やってみました！

山科区
安朱屋敷町

実施：2008年8/24（日）

今年は、「安朱北部子ども会」のおやつに、共同作業所（11P参照）で作られたクッキーを取り入れました。味も美味しいし、社会の仲間として良い商品があるなら使いたいという役員さんの気持ちからです。クッキーは、国内産小麦を使用し、化学的合成物不使用、できる限りオーガニックの材料を使ってつくられています。クッキーを渡すときに、商品について知ってもらう機会になるよう、パンフレットを添えて渡しました。

クッキー以外のおやつも少しでも環境や健康に配慮されたものにしようと、役員さんが利用しているできるだけ環境に配慮した食品を扱うお店から購入しました。おやつへの渡し方も工夫し、ごみを減らしました。渡すときに、袋に入れて渡すのではなく、家から袋を持参してもらってそれぞれのお菓子を自分でとってもらうようにし、できるだけ新しい袋を使わずに済むようにしました。当日は、役員で予備の袋を用意したけれど、参加していない人への配布用に使っただけで済んだとのことでした。



お町内の声



今回初めてエコ地蔵盆を行い、参加したお母さんから「子どもの体のことが考えてあり、量もちょうど良い」という好評の声が聞けて良かった。

エコ地蔵盆 やってみました！

右京区
中田町

実施：2008年8/24（日）

「子どもと一緒に大人も楽しもう！」
ということで、こちらの町内では、焼
きそばやビールを販売しました。従来は
缶ビールでしたが、今年はこれを瓶ビー
ルに切り替えました。また、ガラスコッ
プも酒屋さんから借りることができ、使
い捨て容器ごみの削減ができました。参
加した人にも「瓶のほうが美味しい気がするなぁ」と好評でした。



このほかに、お町内独自の取り組みとして、各家庭で使用し
ないものを持ち寄ったバザーが行われていました。買った商品
を入れる袋も各家庭にストックされているいろいろな店の紙袋
を活用し、新たなごみの発生をおさえました。

家庭用景品のくじ引きでは、有志お手製
のアクリルたわし2枚セットに番号札が挟
み込まれたものが、くじになっていました。
天ぷら油回収の案内もつけられており、水
を汚さない工夫をさりげなく提案するアイ
デアものでした。



お町内の声



バザーおよびいろいろな販売をして、町内の多くの方々に関わりが
地蔵盆の子どもたち共々盛り上がったのがよかった。また、この動
員力を活かして、防火防災訓練にも多くの参加者があり一挙両得で
あったと思っています。

今後、エコ地蔵盆の趣旨を理解して、継続していけるよう期待して
います。

やってみよう!
エコ地蔵盆



其の1

おやつ

地藏盆で配られるおやつは、子どもたちの楽しみのひとつ。もとは暑い夏を病気にならず元気に過ごせるように、栄養豊富な小豆と砂糖を使った紅白のおまんじゅうを分け与えていたといわれます。

子どもたちの健やかな成長を願うお祭りだからこそ、おやつにも以下のような視点を取り入れてみてください。

化学的な添加物が入っていないこと

現在は一般的になっている袋菓子の詰め合わせは、着色料や保存料、香料などの添加物が多く含まれたお菓子ばかりです。原材料欄に書かれる添加物がない、あるいは出来るだけ少ないものを選んでください。

地域のお店のものを使う

地藏盆は、地域をつなぐ行事でもあります。ぜひ近くのパン屋さんやお菓子屋さんを利用してください。作る人と買う人がお互いに見知っている安心感がありますし、地域のお店を応援する意味もあります。また、値段や内容は相談にのってくれる場合も多いです。

ごみが少ないものを選ぶ

個包装のおやつは、ごみが多くなってしまいます。みんなで分け合えるようなものを選ぶことも選択肢の一つです。

飲料は、一人ひとりに缶やペットボトルで渡すことをさけると、かなりのごみ減量になります。リッターサイズのものを利用して、コップにつぎ分けてもいいですね。一部の共同購入のシステムでは、リユース瓶入りのジュースを扱っています。

おすすめおやつ

ここでは、できるだけ添加物を入れずにつくられているお菓子を
紹介しています。※いずれも、早めにご注文ください。

あめ



京の飴 小菊亭 (ふいーゆ)

京都市中京区衣棚竹屋町玉植町 247-1

TEL 075-211-2392 定休日 日のみ営業

できるだけ無農薬、低農薬、国産の材料を使っています。
添加物不使用。個包装なくごみも少ない。ココア味・抹茶
味 (80g 300円)、梅味 (70g 400円)。

ボーロ



西村衛生ボーロ本舗

京都市中京区間之町二条上る夷町 580

TEL 075-231-1232 定休日 日・祝 土不定休

化学的な添加物を使用せずにつられた焼き菓子 (150円
/100g ほか)。小袋のものもある (20g×6パックで220円)。
市内スーパーの他、中京区の本店でも購入できる。

焼き菓子



ママオープン

京都市伏見区深草七瀬川町 888

TEL 075-641-3097 定休日 日、第1・第3月

「子供たちに安心して食べさせることのできるおやつ」
をコンセプトに、国産品にこだわった素材の焼き菓子を
低価格で販売。マカダミアポール (6個¥200)、雑穀・
フルーツ&ナッツクッキー (各30g¥180) など。

あられ



美馬あられ

京都市中京区西ノ京大炊御門町6番地 (下立売西大路西入)

TEL 075-463-6068 定休日 正月

国産のもち米から手作業手焼きでつくられたおかき。数
ある種類のなかでも、塩味と胡麻味は化学調味料不使用
で特におすすめです。一袋100gが505円〜。

ジュース



国産の材料を使用している、果実をしぼったままのスト
レート果汁である、添加物を出来るだけ使っていない、
という視点で選んだジュースです (ただし、リンゴジュ
ースには酸化防止剤が使用されています)。市内スーパーや
生協等でパッケージを目印に購入してください。

お店

ここで紹介しているのは、これまでに「エコ地蔵盆」に賛同して下さったお店です。それぞれ材料を吟味して、添加物をできるだけ使用せずに地域で頑張っているお店です。地域には、ここに紹介する以外にたくさんのお店や菓子屋さんがあります。サイズや量、値段など相談に応じてくれるところも多いので、ぜひお近くのお店を利用してください。

こめ粉パン専門店 鯉ヶ窪 京都堀川	京都市上京区西堀川通上長者町下る奈良物町 481		
	TEL	075-431-3488	FAX 075-431-3488
	営業時間	9:00 ~ 19:00	定休日 日
特徴: 新潟米からつくられたパン。蒸しパン、スコーン、クッキー。パウンドケーキは、小麦グルテン不使用のため小麦アレルギーのあるお子さんでも食べられます。			
まるき製パン所	京都市下京区松原通堀川西入北門前町 740 (松原商店街内)		
	TEL	075-821-9683	FAX 075-841-4448
	営業時間	平日 6:30~20:00 日・祝 7:00~14:00	定休日 不定休
特徴: 安心安全美味しいをモットーに、パンの具材もできるだけお店で手作り。毎朝2時間かけて小豆から炊くあんロール(130円)、牛乳から手作りしたクリームロール(130円)はいちおし！			
アンティキティー	京都市山科区御陵四丁野町 20-2 (京都薬大南校舎南側)		
	TEL	075-594-6121	FAX 075-594-6121
	営業時間	10:00 ~ 20:00	定休日 日
特徴: 材料はできるだけ国産のものを使用し、お店で手作り。ホールからショートサイズのケーキがあり、シュークリーム、クッキーなど洋菓子揃っています。パウンドケーキ 157円～。アレルギー対応については応相談。			
テラス コジーハウス	京都市山科区竹鼻地蔵町南町 39-2		
	TEL	075-592-4555	FAX 075-592-4555
	営業時間	9:00 ~ 18:30	定休日 木
特徴: 材料はできるだけ国産のものを使用し、お店で手作り。クッキー 3種(100g380円)、バターケーキ(1個 250円～)、ジャム(小サイズ1瓶 550円～)がある。ジャム瓶はリユース可(20円引き)。			

食品添加物について

そもそも、食品添加物って何のために使われるのでしょうか？ 実は、加工する際に扱いやすくするため(例: 乳化剤、膨張剤)や、そのことによって劣る味や色を補って見映えを良くするため(例: 甘味料、着色料)に使われます。また、大量生産、長距離輸送で生産から販売まで時間がかかるので保存料が入るといった具合です。また、「一括表示」によって、何が使われているのか分からない場合もあります。例えば「膨張剤」には40種類以上ありますが、複数種類を一緒に使ってもその個別名称でなく「膨張剤」としか表示されません。

共同作業所



共同作業所は、様々なハンディのある方が、地域で働き生活することを支援する施設です。添加物を極力控えたお菓子やパンなどの食品はじめ、布・紙・木工などの手工芸品の製造販売を行っています。ぜひ地域のお店として気軽に活用してください。行事への出店、各種記念品の予算や数量も相談に応じています。ご注文はお早めに。「ハートプラザ KYOTO」のホームページから、京都府内の作業所の情報が閲覧できます。

ハートプラザ KYOTO	京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 京都駅ビル9階		
	TEL	075-342-0051	FAX 075-342-0052
	営業時間	10:00 ~ 18:00	定休日 火
特徴： 京都府下の作業所で作られたお菓子、手芸、木工品等が揃っています。			

ふしみパン工房 くーべ	京都府京都市伏見区西大黒町 1035-23		
	TEL	075-605-4800	FAX 075-605-4800
	営業時間	9:30 ~ 17:00	定休日 日・月・祝
特徴： 地元の方においしいパンを届けたいと、国産小麦、北海道産バターなど材料を吟味。自家製ブドウ酵母や伏見の酒粕仕込みのオリジナルパンも人気です。			

さくさく工房	京都市北区紫野雲林院町 44-1 京都市北合同福祉センター 1F		
	TEL	075-492-8821	FAX 075-491-2138
	営業時間	10:00 ~ 17:00	定休日 日・祝
特徴： 手作りケーキ 105 円～、クッキー 315 円～など豊富な種類が並ぶ人気店では試食も可能。アレルギー対応もあり。ギフト・イベント用は 1 袋 105 円～、ご予算相談応じます。			

HOLYLAND	京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3		
	TEL	075-711-7360	FAX 075-711-7370
	営業時間	9:00 ~ 17:00	定休日 土・日・祝
特徴： クッキー 262 円～、焼き菓子 105 円～、シュークリームやロールケーキ等の生菓子は無添加のやさしい味が好評です。オリジナルの詰め合せも応じます。			

京・嵐山 マルシェ	京都市右京区嵯峨天竜寺北造路街 5-3		
	TEL	075-862-0824	FAX 075-862-0773
	営業時間	8:30 ~ 17:00	定休日 日・月
特徴： 自家培養酵母で焼くパンは、どっしりと噛みごたえのある素朴な味。国産小麦、赤穂の塩、鹿兒島の粗糖など素材も厳選。お菓子も豊富なまちのパン屋さんです。			

いずれも、それを口にする消費者のために使われているものではありません。しかし、その添加物によって、健康や味覚への悪影響が懸念されています。発ガン性物質も問題ですが、味覚が刺激されて、必要以上に油分や塩分の摂取量が増える傾向があります。子どもの頃からこうした刺激に慣れることが、生活習慣病にもつながります。

普段口にするもの全てを添加物不使用の食品にすることは、現実には難しい面があります。しかし、添加物を使わずに作られている食品は確かにあり、選ぶことができます。そうした商品をぜひ買い物の際の選択肢に加えてください。

やってみよう！
 其の？

エコ地蔵盆

あそび・プレゼント

子どもと大人が集まる機会だからこそ、一緒に遊べて、コミュニケーションがあり、自分達なりの工夫ができるようなものを取り入れては。プレゼントは必ずしも「おもちゃ」でなくてもいいですね。

キャラクターものでないこと

キャラクターものは、はやりが終わるとごみになる可能性が高く、遊び方が限定されがちです。買っては捨てるおもちゃでなく、工夫したり、長く楽しめるものという視点で選んでください。

電池、電気を使わないもの

電気などのエネルギーを使う遊びは日常生活に溢れています。地蔵盆では、それ以外の遊び方がること、その楽しさを伝えることで、子どもたちの発想を広げるチャンスでもあります。

仲間同士のコミュニケーションがあるもの

ボードゲームやカードゲームなど、人数がいるから楽しめるものが多く、自然とコミュニケーションが生まれます。親や大人と一緒に遊ぶことでさら盛り上がります。

町内の大人の知恵をいかして

町内のおばあちゃんが風呂敷の包み方を子どもたちに伝えたり、木工が得意な方がいらっしやれば工作等、また夕方にはみんなで打ち水など、地域のみなさんの知恵や特技を子どもたちに伝え、活かす場として活用できます。

プレゼントの例

お町内の役員さんが選んだプレゼントの一例です。

- ・ おりがみの本とおりがみ
- ・ 木製野菜おままごとセット
- ・ 恐竜組み立てセット
- ・ 環境かるた
- ・ 組み立てブロック
- ・ 立体パズル
- ・ ジェンガ
- ・ 実験キット
- ・ 植物栽培セット
- ・ カードゲーム

* プレゼント選びの前に、ボードゲームを体験できます *

「世界のボードゲームを広める会 ゆうもあ」

人と人が対話しながら遊ぶ楽しさをもつボードゲームの普及に取り組んでいます。2カ月に1回奇数月に、ひとまち交流館（京都市下京区）で各種のボードゲーム、カードゲームを体験できるゲーム会を開いています。初めてでも、スタッフが遊び方を教えてください。詳しくは、<http://www.u-more.com/index.jsp> をご覧ください。

お町内のアイデア

お町内独自の工夫を紹介します。

竹工作

町内のおじさん達が、子どもたちに水鉄砲や竹ぼっくりの作り方を指南。工作に使った竹は、町内で造園業を営む役員さんが集めました（大宮薬師山西町東町）。

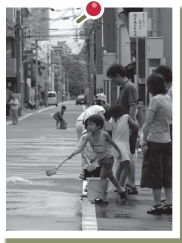
打ち水

夕方の日が落ちかける頃、みんな揃って打ち水大会。ひしゃくや水鉄砲など思い思いの道具を持ち寄りました（天守町）。

町内探検

普段自分達が暮らしている町内も案外知らない所があるもの。お寺や湧き水のでるポイントなど、小グループで年上の子どもたちが年下の子たちを見ながら、一緒に町内探検をしました（大宮薬師山西町東町）。

中心部に近いお町内では、隣接する他のお町内の地藏盆を見ながらご近所をぐるっと一周しました（天守町）。



打ち水



町内探検

やってみよう！ エコ地蔵盆

其の？

家庭の景品

日常的に使用する商品に何を選ぶかは、環境に与える影響の大小に大きく関係しています。どのような商品が環境への影響が小さいのか、地蔵盆の景品やおさがりを通じて体験できます。以下の提案のうち、取り組みやすいものから地蔵盆をきっかけにぜひ日常生活にも取り入れてください。こうした視点を持つことは、日常生活での商品選択の幅を広げ、よりよい商品を購入する手がかりにもなります。

資源を大切にしたもの（ごみも少なく）

リサイクル原料を使用したもの、包装の少ないもの、リユース容器のものなどは、ごみも少なく、新たな資源の掘り起こしも抑制します。

化学物質が少ないもの

子どもはもちろん、大人の体に入るものも添加物や化学物質は少ないにこしたことはありません。調味料、食品ラップなど地蔵盆で使われる商品でも、添加物が少ないものを選ぶことができます。

地元や近郊の生産者、メーカーを応援するもの

京都市近郊や京都府内で生産されたものを買うことは、輸送に伴うエネルギーが少なく、地域の生産者を応援することになり、地域経済の支援にもつながります。

生産地や生産者の環境や暮らしを守るもの

私たちが手にする商品の中には、児童労働や不当な労働環境によって生産されたものがあります。こうした生産者の不利益や取引における不平等を解消し、生産地の環境を将来にわたって保全する貿易を「フェアトレード」といいます。この商品は、コーヒー、紅茶、チョコレート等で入手しやすくなってきました。生産地の子どもたちにも穏やかな将来がありますように。

日用品

地蔵盆でよく使われる商品にも環境配慮型のものがあります。値段も従来のものと同じかむしろ安いものもあります（単位当たりの比較）。

トイレトーパー

牛乳パックや古紙等をリサイクルしたものを選ぶことで、森林資源の保全につながります。パッケージの「古紙パルプ配合」「牛乳パックリサイクル」という表示や右のような環境ラベルがついたものを選んでください。



食品用ラップ

選ぶときには、原材料欄を確認してください。原材料にポリエチレンと表示してあれば、燃やしたときに有害物質を発生しません。さらに、防曇剤や乳化剤等の添加物が使用されていないものを選んでください。紙歯ならさらに◎。

○良い例

品名	食品包装用ラップフィルム
原材料	ポリエチレン
添加物名	なし

×悪い例

品名	食品包装用ラップフィルム
原材料	ポリ塩化ビニリデン
添加物名	脂肪酸誘導体（柔軟剤） エポキシ化植物油（安定剤）

洗剤

洗剤には、「合成洗剤」と「石けん」があります。「石けん」は、自然の力で分解されやすく、環境への影響が小さくてすみます。右の表示を手がかりに、台所用、洗濯用など環境負荷が少ないものを選んでください。

○良い例

家庭用品品質表示に基づく表示	
品名	台所用せっけん
用途	食器・調理用具用
液性	弱アルカリ性
成分	純石けん分 (28%脂肪酸カリウム)

×悪い例


家庭用品品質表示に基づく表示	
品名	台所用合成洗剤
用途	野菜・果物・食器・調理用具用
液性	中性
成分	界面活性剤（23%） アルキルエステル硫酸エステルナトリウム

調味料

京都には、添加物を使わず、昔ながらの作り方で丁寧に作られている調味料が各種あります。容器もリユースタイプのものを使用するなど、環境への配慮に取り組んでいるメーカーもあります。こうしたお店の商品を選ぶことが、日常生活で環境配慮に取り組むことになります。

山田製油	京都市西京区桂翼町 4		
	TEL	075-394-3276	FAX 075-394-3283
	営業時間	9:00 ~ 17:00	定休日 日・祝

特徴：無農薬栽培のごまを原料に、昔ながらの压榨法で作ったごま油(840円)ほか、ドレッシング(577円~)、煎りごま(189円~)等があります。市内スーパーでも購入可。桂本店では、容器持参で値引きのサービスがあります。




林孝太郎造酢	京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町 455		
	TEL	075-451-2071	FAX 075-451-8028
	営業時間	9:00 ~ 17:00	定休日 日・祝・第2第4土

特徴：材料は生産に透明性があるものを使用し、お酢はすべて国産。お酢は昔ながらの味わいを守るため、半年~1年間かけて発酵・熟成。瓶はリユース可(京あまり米酢 360ml556円/900ml945円他多種あり)。



うね乃	京都市南区唐橋門脇町 4		
	TEL	075-671-2121	FAX 075-671-5345
	営業時間	9:00 ~ 18:00 (土は 16:00 まで)	定休日 日・祝・第2土

特徴：「簡便性の高いほんもの味」をコンセプトに作られた、化学調味料・保存料等不使用の粉状・液状だし、だしパックがあります。全て職人が手間ひまかけて作った鰹節や昆布から出来ています。



リユース瓶を使おう！

一升瓶やビール瓶、牛乳瓶は、同じ瓶を何度も洗って使う「リユース瓶」と呼ばれる容器です。使い捨ての缶やペットボトルをリユース瓶にかえることで、ごみ減量やエネルギー使用量の削減につながり、温暖化防止や資源保全に大きな効果をもたらします。

京都市ではこうしたリユース瓶の使用を促すために、市内のスーパーや酒店で瓶の回収を行っています。一升瓶、ビール瓶、牛乳瓶以外にも、右のようなマークが瓶やラベルについているものは、リユース瓶の印です。資源ごみに出さずに、お店に返してください。右ページのアドレスから、地域の回収店を探すことが出来ます。



re-use




食品

ここでは、国内外の生産地の活性化や環境保全につながる商品を、食品を中心に紹介しています。


特産物ショップ ホット丹後	京都市上京区西堀川通下立売上る4丁目51(堀川商店街内)		
	TEL	075-812-8600	FAX 075-812-8600
	営業時間	10:00～18:00	定休日 日・月

特徴：京丹後市の地場産業の活性化を目的としたアンテナショップです。生産者が各地域へ安く美味しい野菜を届けるため、愛情込めてつくられた野菜が購入できます。




ヴィレッジ・ トラスト・ つくだ農園	京都市左京区大原小出石町105		
	TEL	090-2260-1538	FAX —
	営業時間	10:00～18:00	定休日 —

概要：京都大原で有機栽培により野菜・水稻・合鴨を生産しています。生産物は、大原ふれあい朝市(毎週日曜午前6時～10時)、里の駅・大原(075-744-4321 月曜定休)にて直売しています。体にも、環境にもおいしい里の恵みをどうぞ！



小川珈琲	本社：京都市右京区西京極北庄境町75		
	TEL	075-313-7333	定休日 年中無休

特徴：「珈琲職人として、本物の価値ある商品を創り、真心を持ってお届けする」をモットーとした京都発祥の珈琲専門店。おいしい珈琲を将来にわたって提供できるように、積極的に有機栽培コーヒー、フェアトレードコーヒー、バードフレンドリー®コーヒーに取り組んでいる。有機珈琲フェアトレードモカブレンド(200g ¥819)など、市内スーパーや直営店で購入可能。



地域の回収店を探す

- ➡ 京都市ごみ減量推進会議 > リユースびん事業化活動 > リユース瓶回収拠点マップ
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gomigen/katsudou/14/reuse-bin/index.html>
- ➡ 京都市情報館 > 京都市循環型社会推進部 > ごみを減らそう > リユースびん
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000008664.html>

購入時にもぜひリユース瓶を選んでください。酒屋さんは、配達・回収をしてくれるので買い物も楽です。



やってみよう！ エコ地蔵盆

其の4

ごみを減らす

お祭りが終わった後、たくさんのごみを片付けるのは大変です。ちょっとした工夫でごみも減り、役員さんたちの片付けの手間も省けます。地蔵盆全体を通じてごみ減量のアイデアを紹介します。

飲料は缶から瓶にする

地蔵盆では、大人はビールで楽しむ光景もみられます。このときのビールを缶から瓶にかえれば、お祭りでお出するごみはぐっと減ります。ビール瓶は、酒屋さんが配達と回収をしてくれて、返却すると瓶一本当たり5円が返金されます。小瓶（330ml）、中瓶（500ml）、大瓶（660ml）があります。酒屋さんによっては、グラスを貸してくれる場合もありますので、尋ねてみてください。



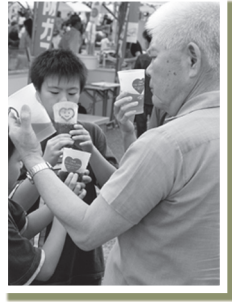
マイ食器を使用する

各自が器、カップ、箸などを持ち寄り、使用後の洗浄も各自がすれば、ごみが少なくなる上に、洗う負担も小さくてすみません。使い捨て食器を購入する費用もカットできますね。



リユース食器を利用する

カレーや焼きそばを作ってみんなでいただく地蔵盆も見られます。このとき使う食器を使い捨て食器からリユース食器にかえて、ごみ減量ができます。リユース食器は、レンタルすることができます（有料）。詳細は下記にお問い合わせください。



**特定非営利活動法人
地域環境デザイン研究所 ecotone**

〒604-8821

京都市中京区壬生柳ノ宮町9-13

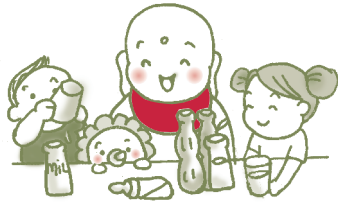
HAJIME BLD.

TEL: 075-205-1433

FAX: 075-205-1434

E-mail: info@ecotone.jp

URL : <http://www.ecotone.jp>



お町内のアイデア

お町内独自の工夫を紹介します。

タイトル

おもちゃや各家庭への景品は、各家庭にたくさんストックされている紙袋を再利用しました。

(大宮薬師山西町、東町)



持ちよった袋の中には、
おたのしみのプレゼント

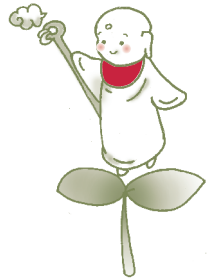
あとがき

地蔵盆の日に「エコ地蔵盆」を実施している町内だけでなく、いくつかの町内の地蔵盆を見学させていただいたことがあります。それぞれのお町内で、さまざまな取り組みがされていました。各町内で毎年役員の方がいろいろ工夫をされているのだと思います。これからは、その工夫の一つにぜひ「環境」という視点を取り入れていただきたくて、この冊子をつくりました。社会的な問題としての環境問題を意識して、という意味もちろんあります。もうひとつ、新しい視点が入ることによって行事が盛り上がるという効果もあります。今、「環境」という視点には十分にその効果があるということ、私たちがこれまでに実施したエコ地蔵盆をとおして実感しています。「環境」は、地域行事を活性化する「スパイス」になりうるのです。

子どもたちは、学校で環境問題について学んでいます。そして自分達が大人になったときのことを少し不安に思っている子どももいれば、「大変なのに、大人はどうして何もしないの?」と思っている子どももいます。だから身近な大人が環境問題のことを考えて取りくんでいる姿は、「大人もがんばっているみたい」となんとなく嬉しかったりします。大人が環境問題に取り組む姿が、地蔵盆の楽しい記憶の中に残っていけばと思います。

地蔵盆以外にも地域のお祭りはたくさんあります。神社のお祭りや盆おどり、体育祭などにも、この冊子の取り組みは応用できます。どうぞ参考にしてください。京都に「エコ町内会」が増えていくことを願っています。「エコ地蔵盆やってみたいけど……」、「エコ地蔵盆やってみました!!」というお問い合わせやお知らせもお待ちしております。





「やってみよう！エコ地蔵盆」

作成スタッフ：今田 千草、内田 香奈、壺井 佑三子、松原 伶、若井 美由紀

イラスト・デザイン・レイアウト：下司 智子

写真協力：大宮薬師山東町西町、ヴィレッジ・トラスト・つくだ農園、
NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone、千葉 有紀子

発行：特定非営利活動法人環境市民

代表理事：枚本 育生

住所：〒604-0932 京都市中京区寺町二条下る 呉波ビル3階

電話：075-211-3521

FAX：075-211-3531

URL：http://www.kankyoshimin.org/

e-mail：life@kankyosimin.org

発行年月：2009年3月

印刷：(有) 祉書房



特定非営利活動法人 環境市民

環境市民は、1992年に発足し、活動している環境NGOです。環境問題を総合的な視点でとらえ、持続可能な社会の実現をめざしています。多くのボランティアとともに調査研究にもとづき、地域、行政、企業ともパートナーシップで環境負荷の少ない暮らし方の提案や情報発信、施策の提言を行っています。活動は多岐にわたり、ボランティアも常に歓迎です。また、会員も募集しています。詳しくはホームページ等をご覧ください。皆様のご参加、ご支援をお待ちしています。

※ この冊子は、京都市ごみ減量推進会議の助成金をうけて作成しました。

※ この冊子は、再生紙に自然エネルギーを使用して大豆インキで印刷しています。



本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。

やってみよう!

エコ地藏盆

発行

特定非営利活動法人 環境市民



〒604-0932

京都市中京区寺町通二条下る 呉波ビル 3F-A

TEL.075-211-3521 FAX.075-211-3531

URL.<http://www.kankyoshimin.org/>